

四天王寺和らぎ苑 季刊誌

# 和らぎ苑

第76号 冬号 発行月：令和5年1月



## もくじ

新年のご挨拶

取り組み NOW! ～3階フロアでの活動の取り組み～

ポプラからの活動報告

冬まつりの実施報告



# 新年のご挨拶

施設長 塩川 智司



明けましておめでとうございます。皆さまにはお元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

めでたいはずのお正月ですが残念ながら、今年もまたコロナ禍に明ける新年を迎えました。コロナ禍で迎える3回目のお正月、当初から新型コロナ感染のお話で申し訳ありません。

思い起こせば2020年1月13日の感染症第一例目確認を皮切りに感染は拡大し、同年4月7日に第1回緊急事態宣言が発出されました。その後さらに感染は拡大を繰り返し、現在は第8波のまただ中、われわれはまた新たな様相に直面しています。第1波に対する緊急事態宣言発出時の全国の新規感染者数は365人でありましたが国民は感染拡大に怯え、緊張感と街には静寂が訪れました。振り返ればさざ波のような第1波、2波でありました。今や、新規感染者数は大阪だけでも2万人超えがあり全国では20万人を超えることもあります。政府の緩和政策と相俟って、本来あるべき『with コロナ』が日常感覚、慣れになってしまっている気がして、危機感を覚えます。今から思えば僅かな新規患者数に驚き、怯えたのはどこへやら、緊張感も静寂もなくなってしまうのが気がかりです。和らぎ苑でも、昨年12月初め、新型コロナの洗礼を受けクラスターが発生しました。しかし、過去の経験の積み重ねと職員の強い使命感と働き、それとチームワークでもって難局を切り抜けることができました。私が和らぎ苑に赴任した際に、職員、ご家族とともに考えた『和らぎ苑の誓い』。1つ 和らぎ苑は一つの家族、『和』で結ばれた大きな家族。2つ 職員は専門職として、誠心をもって職責を果たす。全ては利用者さんの笑顔のために。3つ ご家族も、利用者さんを支える大切なパートナー。これに込めたわたしの思いを実践されている姿に感動をおぼえました。

さて、わたしたちの使命は、職員・ご家族全員で、利用者さんの『life』全体を支えることです。lifeには、1) 生命、いのち、2) 生活、3) 人生の意味を含んでいます。わたしたちの施設の使命は、利用者さんの健康、いのちを守る「生命のレベル」、さらによりよい日常生活を支える「生活のレベル」、そして「人生レベル」として利用者さん全てが豊かな人生をおくっていただけるように多職種協働で支えることです。そこで何より大切に思うのは、ご利用者を支えるわたしたちの『連携』です。ある講演会の中で心に響く以下の話がありました。国語辞典に連携とは、同じ目的を持ったもの同士が、互いに連絡を取り合って、協力して物事に取り組むことと書かれています。すなわち連携とは、1) 同じ目的を共有していること。2) 互いに連絡を取り合っていること。3) 協力体制ができていること。前提として役割分担が明確であること、と演者は話されました。本年は、この『連携』を何より大切に和らぎ苑の利用者さんのために進みたいと思います。

# 取組 NOW!

当苑にて現在進行形で実施している様々な取り組みについてご紹介します。今回は3階フロアの日中活動についてです。ご利用者が日々楽しまれている遊びや体験、レクリエーションを継続して行う上での工夫や仕組みを聞いてきました。

## ～3階フロアでの活動の取り組み～

### ①始めに現在の活動について紹介してください

職員 2～3 人で個人の強みをより活かしたグループ活動を実施しています。ご利用者間での年齢や性別を超えた交流により、関係性が構築される事が期待でき、生活の中で普段感じる事の出来ない楽しさを感じて頂くとともに、ご利用者も職員も新たな発見が出来る事から、生活がより豊かになっていく事に繋がると考えています。

### ②どのようにグループ分けを行ったか教えてください

編成しました。各グループのご利用者の特徴について、2グループ抜粋し説明します。A-①とA-②グループのご利用者の特徴としては「明確な変化は見出しにくい、持続的に関わることで変化がより引き出される」といったことが挙げられます。Bグループのご利用者の特徴としては「目的意識を持って身体を使う事や、特に物に対して働きかける事が可能」といったことが挙げられます。

### ③活動内容はどのようなことをされていますか

ご利用者の特徴や能力に合った活動内容を設定しました。その中から2つの活動内容をご紹介します。1つ目は楽器演奏です。ギターやマラカス、タンバリン等を選び、音楽に合わせて演奏を行いました。また参加者の年代や季節に合わせた楽曲を選び、より興味関心を持って参加して頂けるように工夫もしました。2つ目はゲームです。黒ひげ危機一髪やトランプ等を行っています。ゲームルール（勝ち負け等）を説明し、自らの働きかけによる対象物の変化を体験することで、他のご利用者と一緒に楽しみながら活動をしています。

### ④グループ活動に参加された際のご利用者はどのような様子ですか

楽器演奏の活動では、選んだ楽器を手に取り、身体を動かして鳴らすことで楽器から聞こえてくる音や振動が伝わり、腕を曲げ伸ばしされる動作が見られました。また他のご利用者とは合奏することで、他者の奏する音の方向へ視線を送る、周囲を見渡す等の視線の変化も見られました。ゲームの活動では、突然黒ひげが飛ぶことと、その音による衝撃で目を大きく見開かれる表情が見られました。また全身を細かく振戦する様子も見られ、緊張感のある雰囲気に参加されておられました。トランプでは職員と一緒にカードを引く姿が見られ、職員もご利用者もみんなで楽しむ姿が見られました。

### ⑤グループ活動の今後について教えてください

この活動を通して、多様な表情が見られるようになりました。ご利用者同士の交流の機会となり、関係性の構築にも繋がりました。さらに、職員にとっても他職種と話し合う機会が増え、多種多様なアイデアが生まれました。そうしたことで、より良いレクリエーションを提供することにも繋がっていくと考えています。今後ご利用者が毎日の生活の中に楽しみを感じて頂けるような様々な活動をフロア全体で一丸となって取り組んでいきます。

ご家族やご利用者から「個別よりも大勢で、賑やかな環境で楽しく過ごしてほしい」とのニーズがあり、複数のご利用者に対しリハビリスタッフとフロア

公認心理師が評価した太田ステージに基づいて、全ご利用者を特徴や能力に合った A-①、A-②、B、C、D の5つのグループに

ご利用者の特徴や能力に合った活動内容を設定しました。その中から2つの活動内容をご紹介します。1つ目は楽器演奏です。ギターやマラカス、タンバ

楽器演奏の活動では、選んだ楽器を手に取り、身体を動かして鳴らすことで楽器

この活動を通して、多様な表情が見られるようになりました。ご利用者同士の交流の機会となり、関係性の構築にも繋がりました。さらに、職員にとつ



# ポプラからの活動報告



和らぎ苑生活介護「ポプラ」では、ご利用者に日中活動の場を提供させていただいています。毎年、お花見やクリスマスなど季節に応じた活動や、オリンピックやサッカーW杯開催の時期には、ボッチャやゴールボールなど、世間の流行やイベント事に合わせた活動を実施しています。また、職員だけではなく、ご利用者同士の関わりも意識した活動を心掛け、より充実した生活の一助になればという思いで、職員一同明るく元気に支援を行っています。その中で、ご利用者が見せて下さる笑顔が私たちの励みとなっており、日々、



感謝の思いです。



活動の様子を定期的に和らぎ苑のホームページブログにて一部紹介していますので、ご興味のある方はそちらも見ていただければと思います。



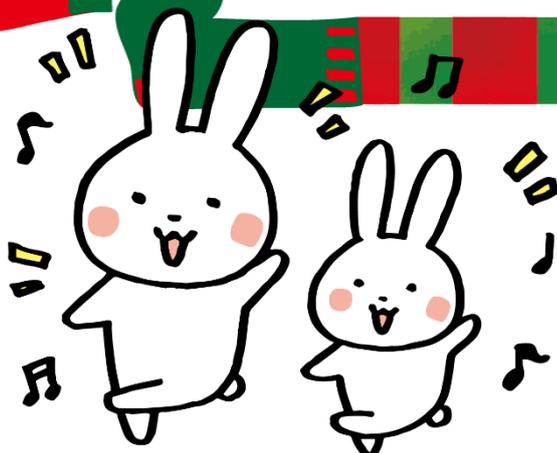
「ポプラ」では新しい仲間を待っています。是非、お気軽にお問い合わせ下さい。



## 冬まつりの実施報告

令和4年度の冬まつりが12月3日土曜日に開催されました。この度の冬まつりにおきましても、新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、ご利用者と職員での実施となりました。冬まつり当日にも感染症対策の関係で、予定していたイベントの変更を余儀なくされましたが、サンタクロースは和らぎ苑にプレゼントを持って来てくれました。少し早いクリスマスにご利用者の皆様は喜んでおられました。

また、各フロアにおいてもクリスマスに向けての飾りつけがされ、中にはご利用者のお手製オーナメントも飾られていて、雰囲気盛り上げてくれていました。次こそはご家族とも一緒に楽しい時間を過ごせれば良いなと思いました。



発行者：四天王寺和らぎ苑広報委員会

ホームページ

四天王寺和らぎ苑

検索

〒584-0082 富田林市向陽台 1-3-21

Tel: 0721-29-0836(代) Fax: 0721-29-3916